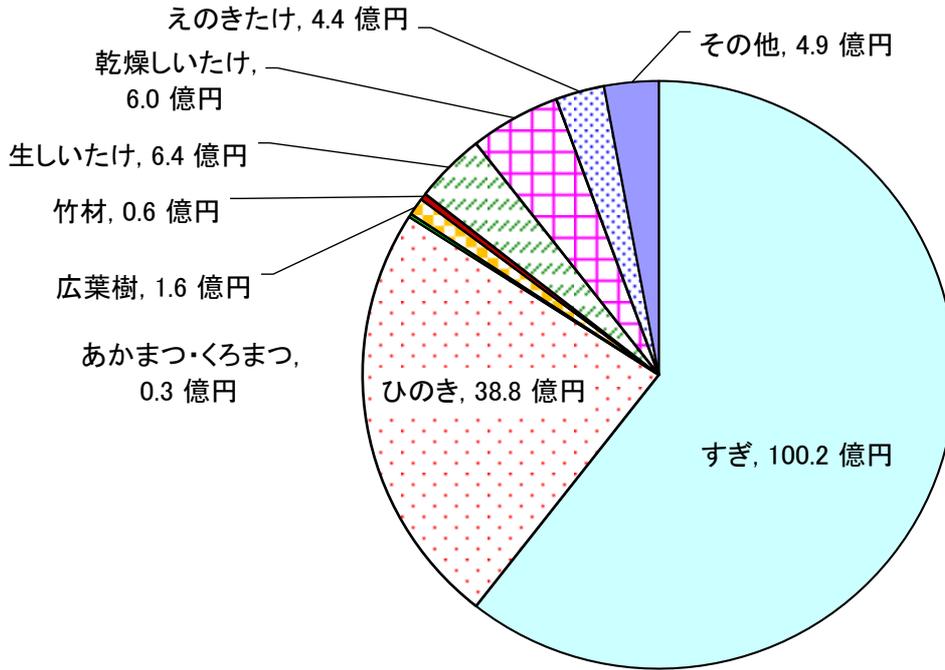


熊本県の主要品目別林業産出額（平成26年）



解 説

【概要】

平成27年2月1日現在の県内林家数は20,759戸で、前回調査の平成22年の22,068戸から1,309戸減少した。

平成26年の林業産出額は165.4億円で前年から4.1%増加した。

また、経費などを差し引いた生産林業所得は113.8億円で前年から12.5%増加した。

林業産出額は全国で第8位、生産林業所得では全国第7位、九州では宮崎県、大分県に次いで第3位となっている。

平成26年の熊本県の品目別産出額を見ると、「すぎ」と「ひのき」で全体の8割以上を占めている。

○林家数

保有山林面積が1ha以上の世帯をいう。

○素材生産量

各需要部門別に木材加工段階に入荷した素材量から、外国産材を除いた量。

○素材

用材（薪炭材及びしいたけ原木を除く）に供される丸太及びそま角。

○林業産出額

各林産物の生産量に単価を乗じて推計した額。

○生産林業所得

林業産出額に、林家経済統計調査等から得られる所得率を乗じて推計。

$$\text{所得率} = (\text{林業粗収益} - \text{物的経費}) \div \text{林業粗収益}$$

資料出所	調査期日	調査周期
*1「2015年農林業センサス」農林水産省	平成27年2月1日	5年
*2「木材統計」農林水産省	平成27年	毎年
*3、*4「生産林業所得統計」農林水産省	平成26年	毎年